

第476回（12月定例）福崎町議会

福崎町長 橋 本 省 三

皆様おはようございます。第476回福崎町議会定例会を招集いたしましたところ、ご多用の中にも拘わりませず、全員のご出席を賜り誠にありがとうございます。

12月議会の開会に当たりご挨拶申し上げます。

本年も残すところ1か月を切りました。この1年を振り返ってみますと、自然災害が多発した年であったといえます。今年、日本には4つの台風が上陸し、全国各地で大きな被害が発生しました。7月上旬の九州北部豪雨では、台風3号と梅雨前線により24時間雨量で1,000mmを超すなど、甚大な被害をもたらしました。その後も全国各地でゲリラ豪雨があり降水量の記録更新がありました。

本町においても、8月18日未明のゲリラ豪雨、9月17日から18日にかけての台風18号により、床下浸水、農林や土木の施設に被害が多く発生いたしました。また、台風21号の接近が衆議院議員選挙と重なるなど、住民生活に様々な影響が及び、自然災害について考えさせられる1年となりました。10月29日の総合防災訓練は、町単独の訓練としては18年ぶりの実施となり、大雨の中での訓練となりましたが、地元自治会の方や福崎小学校の児童にも参加いただき、行動確認や関係機関との連携を図ることができたのではないかと思います。

さて、私は、就任以来、4つの柱を定め、町政を進めてまいりました。

1つ目の柱は最重点項目として進めておりますJR福崎駅周辺整備です。

平成26年度から5年計画で社会資本整備総合交付金により事業を推進していますが、平成29年度予算ベースでの進捗率は約86%となり、用地取得率も96%に達し、駅前広場などの設計業務もまもなく完了します。平成30年度は計画最終年度となることから、予算確保に向けて、11月20日、21日及び27日から30日にかけて上京し、地元選出の山口衆議院議員、末松参議院議員をはじめ国土交通省、農林水産省、総務省及び財務省に要望してまいりました。議員各位におかれましても、予算確保に向けご協力いただくようお願い致します。

また、県においては、JR福崎駅周辺整備に歩調を合わせて、県道甘地福崎線、福崎高校前の湯口踏切から北側の延長320mについて平成29年度に事業着手していただき、

現在、調査設計を進めていると聞いています。当該道路の整備が進められることで、市川町方面から福崎駅へのアクセス性が高まるだけでなく、沿道の土地利用が促進されるなどの波及効果も期待され、県に対しては、引き続き着実な事業進捗を要望してまいります。

今年は、ＪＲ福崎駅前駐車場を７月と１１月にオープンすることができました。事業にご協力いただきました皆様方の移転も順調に進んでおり、日々、様相が変化していますが、来年度になると一気に工事がすすみ、新駅前として変貌することと期待しています。

２つ目の柱は、子育て支援です。

１０月に行われた衆議院議員総選挙において、安倍首相は消費税率１０％の引き上げを予定どおり行い、その増収分の使途の一部を国の借金返済から変更し、幼児教育無償化にあてるとして大勝しました。消費税の増税は色々と賛否はあるとは思いますが、子育て支援の施策は大方の国民が賛成された形になったようです。

少子化対策として、国も子育て支援に力を注いできています。福崎町においても、今年度から、１歳から中学３年生までを対象にインフルエンザ予防接種費用の一部助成を実施しています。年が明けますと受験シーズンとなります。中学３年生の方はぜひこの制度を利用し、予防接種を受け、万全の態勢で希望校の受験に望んでいただきたいと思います。

また、昨年４月から保護者の要望を受け学童保育の利用時間を１時間延長し午後７時までとしたことから、利用者が増えています。

子育て世代包括支援センターにおいては、妊娠期から子育て期にかけての切れ目のない支援体制の構築に取り組んでいます。産前サポート事業のマタニティ教室や妊婦訪問、産後サポート事業として赤ちゃんとのふれあい教室や母乳育児相談を実施し、ハイリスクの特定妊婦の早期発見や早期支援に努めています。

今後も、子育て世代のニーズを把握し、町独自のタイムリーな施策を検討していく必要を感じています。

３つ目は、安全・安心のまちづくりです。

今年は、台風やゲリラ豪雨により、当町においても各所で被害を受けました。特に８月のゲリラ豪雨は、気象庁の予報もなく、早朝、短時間に落雷とともに発生した集中豪雨で誰もが予想しない中、各地域に被害が及び、対応の難しさを実感したところです。被災した箇所については、できるだけ国庫補助金を活用した災害復旧事業で対応し、対象となら

ない箇所については、復旧工事に町単独補助を補てんして被災者の負担軽減を図るよう努めています。

自律(立)のまちづくり交付金事業では多くの地域で防災訓練が行われていますが、日ごろからの訓練が非常に重要であることを啓発していく必要かあると再認識いたしました。

このように頻繁に起こる集中豪雨や台風による浸水被害を防ぐため、川すそ雨水幹線や駅東雨水幹線の整備を推進しています。また、福田地区では、直谷第2雨水幹線の事業認可に向けた取り組みを進めています。県営事業としても（桜）上池のため池改修工事や東田原森本地区の治山ダム工事について進めていただいています。

また、災害時に避難所となる各小学校に、生活用水確保のための井戸設置工事にも着手しました。防犯関係では、昨年度から進めておりました町管理の防犯灯のLED化が完了し、自治会管理の防犯灯につきましても計画的にLED化を進めていただけるよう助成を行っています。

福祉関係では、地域包括支援センターが「地域包括ケアシステム」構築に向け、昨年度から社会福祉協議会とともに各自治会を巡回し、「地域支え合い会議」を開催しています。このシステムは「地域づくり」であるとも言われ、「自助」「互助」を中心に「共助」「公助」が適切な役割を果たすことで、今ある資源の活用やその地域に合ったサービスを創設することにより、認知症などの支援や介護を必要とする方を含めた誰もが安心して暮らせる地域を作り上げるためのもので、今後ますます重要となってきます。また、国民健康保険や介護保険など、社会保障制度は大きく変化する方向に向かっています。少しでも福崎町の歴史に合った制度となるよう、職員といっしょになって取り組んでいます。

4つ目の柱は地方創生であります。

現在、国の地方創生推進交付金を活用した観光振興関連事業に取り組んでいます。

すでにおなじみとなった妖怪をテーマとしたベンチを、過去の全国妖怪コンテストの受賞者に依頼し、福崎駅周辺から辻川界限の間の商店等に設置します。また、観光グッズの開発や販売所なども増やしていきます。それにより、町外からもJRを利用した観光客を増やし辻川界限への流れを作ります。地元住民だけのJR福崎駅周辺整備に終わらず、多くの訪問客でにぎわう活気ある駅前が甦らないかと期待しています。

地方創生拠点整備交付金では、春日ふれあい会館を特産『もち麦』の加工所として、生産・加工・販売までの6次産業化を目指すための環境整備を進めています。営農組合などの生産者が、もち麦を使った新たな商品を誕生させる場としてご活用いただけることを願っています。

5年目を迎えた自律（立）のまちづくり交付金事業では、各種団体や多くの皆様の参画を得て、計画策定・事業実施が進められるようになってきました。町からお願いした人口減少問題についても意見交換に取り組まれる自治会も増え、各自治会においても問題意識を持ってもらえるようになったと感じています。地域の活性化は、地域が元気でないと進みません。この事業を通して、子どもから高齢者まで多くの方が、生まれ育った地域で生涯を通して楽しく生活できるよう、みんなが地域づくりに関心をもって参加いただくことを願っています。

私が就任して早2年が過ぎようとしています、その間においても、行政を取り巻く環境は大きく変化し、少子高齢化や地方創生など新たな分野の課題も生まれています。公営企業では下水道事業の法適用後2年が経過しようとしています、さらに効率的な企業運営に取り組んでいく必要があります。また、J R福崎駅周辺整備事業についても、工事の進捗とともに放置自転車の問題が地域の環境を悪化させています。

このような諸問題に対応するために、今議会で報告1件、議案17件の計18件を提案しています。

詳細説明は副町長、公営企業参事ほか担当課長が行いますので、ご審議賜りご賛同いただきますようよろしくお願い申し上げます、冒頭あいさつといたします。